

株式会社アーレスティ

経営方針説明会



2014年6月19日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- ◆ 当社製品のご紹介
- ◆ TOPICS
- ◆ 今期の見通し
- ◆ 中期目標（2017年3月期）

当社製品搭載車

◆ 日産 アルティマ シーマ マーチ フーガ エルグランド ムラーノ セレナ GT-R スカイライン シルフィ ティアナ DAYZ NV200 エクストレイル 他	◆ 三菱自動車 ギャランフォルティス デリカD:5 RVR アウトランダー ランサーエボリュース ションX eKワゴン 他	◆ アキュラ RDX MDX 他	◆ TOYOTA エティオス ヴィッツ ラクティス マークX ヴァンガード センチュリー IQ ランドクルーザー タンドラ エスティマハイブリッド ベルファイア RAV4 SAI ハリアー クラウン(HV車含む) カローラUS マジェスタ 86 他	◆ 日野自動車 デュトロ(HV車含む) レンジャー プロフィア 他
◆ SUBARU レガシィ レガシィアウトバック インプレッサ フォレスタ XV(HV車含む) BRZ 他	◆ ホンダ フィット (HV・EV車含む) CR-V フリード インサイト CR-Z ステップワゴン アコード(HV車含む) N-BOX N-ONE N-WGN オデッセイ ヴェゼル 他	◆ SUZUKI MRワゴン パレット アルト キザシ ワゴンR スイフト SX4 スペーシア ハスラー 他	◆ クライスラー グランドチェロキー チェロキー	◆ フォード フィエスタ フォーカス
		◆ レクサス HS250 RX450h LS600h IS 他	◆ GM シボレーシルバード GMC シエラ	◆ メルセデスベンツ Mクラス (HV車含む) 他
		◆ ダイハツ アトレー ハイゼット 他	◆ アウディ A4L Q5	



2014年3月期TOPICS



TOPICS

■2013年

- 3月 旧浜松工場の旧豊橋工場へ(東海工場)の集約完了
アーレスティプリテック豊橋工場増築工事着工
- 4月 広州アーレスティ隣接地での工場建設第1期工事竣工
アーレスティウイلمントン増築工事着工
- 7月 アーレスティプリテック豊橋工場増築工事竣工
- 8月 アーレスティウイلمントン増築工事竣工
合肥アーレスティ東風日産乗用車公司へエンジンブロック量産納入開始
- 9月 合肥アーレスティ拡張工事竣工
アーレスティインディア工場拡張工事着工
- 10月 広州アーレスティ隣接地での工場建設第2期工事着工
本社を愛知県豊橋市に移転



アーレスティプリテック豊橋工場増築
工事箇所



合肥アーレスティ納入のエンジンブロック
(1500ccクラスの車種に搭載)

■2014年

- 3月 東京証券取引所市場第1部銘柄に指定変更
- 4月 アーレスティメヒカーナ鑄造工場の増床工事着工

今後の予定

- 6月 広州アーレスティ フォルクスワーゲン グループへの
量産納入開始
- 7月 アーレスティインディア工場拡張工事竣工予定
- 9月 広州アーレスティ隣接地での工場建設第2期工事竣工予定
アーレスティメヒカーナ鑄造工場の増床工事竣工予定



アーレスティインディア第5期拡張工事
竣工後の工場外観イメージ図



アーレスティプリテック豊橋工場増築

株式会社アーレスティプリテック

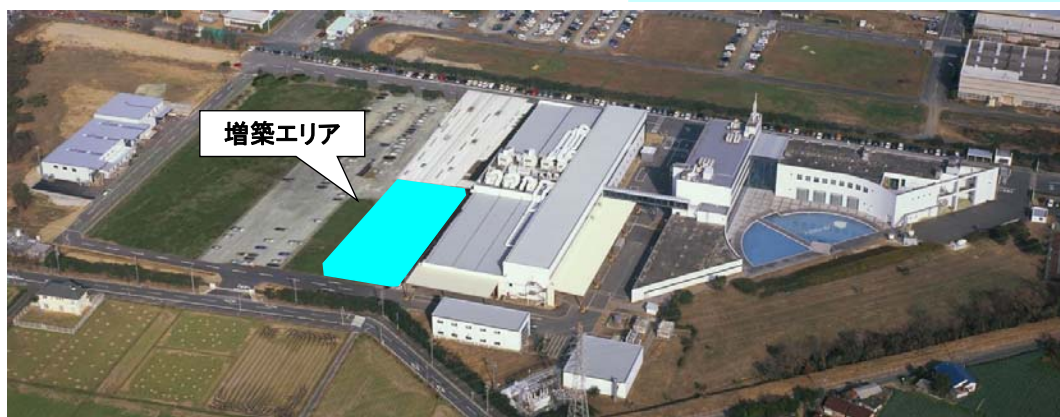
事業内容: オートバイ・自動車・汎用機、主要構成部品の精密機械加工
工場: 本社工場、豊橋工場、浜北工場、東三方工場、高丘西工場

■豊橋工場を増築

2013年3月着工
7月竣工

2013年8月現在
(工場面積) 建屋 約 8,000㎡
※内、増築面積 約2,600㎡

東海工場の集約・再編の一環として、
プリテック小豆餅工場を閉鎖し、プリ
テック豊橋工場に集約することにより、
プリテックのみならず当社グループと
してより効率的な生産体制を構築



豊橋工場増築工事箇所



アーレスティンディア工場拡張

Ahresty India Private Limited

■工場拡張工事

2013年9月着工
2014年7月竣工予定

※鋳造、加工施設の増設に加え、
生産・販売増加に合わせた倉庫
スペースを確保。



第5期拡張工事竣工後の工場外観イメージ図

2013年8月現在

(工場面積)	土地	58,500㎡	建屋	12,200㎡
(拡張予定面積)			建屋	約3,034㎡(鋳造:1,274㎡、加工:1,760㎡)
(ダイカストマシン台数)	14台	※14年8月にかけて3台増設		
(鋳造能力)	月産900t	※増設後: 月産1100t予定		



広州アーレスティ第3工場建設 第2期工事着工

広州阿雷斯提汽车配件有限公司

■第3工場建設

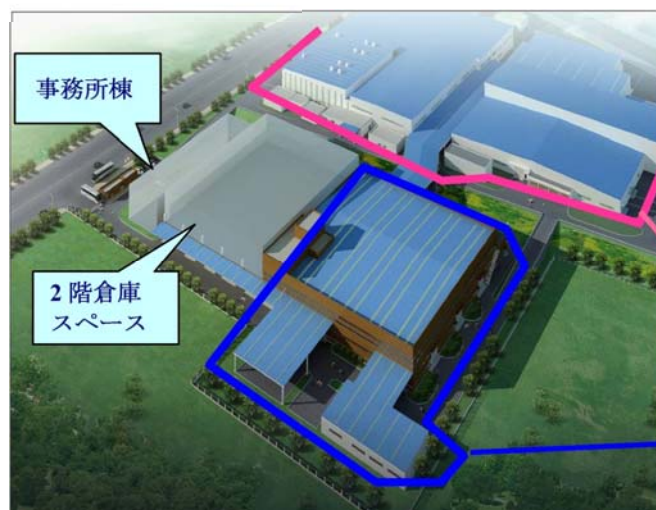
第1期工事

2012年5月着工
2013年4月竣工

第2期工事

2013年10月着工
2014年9月竣工予定

※第2期工事では事務所棟と
製品倉庫を建築



借りている3つの
工場を第3工場
に集約し物流等
の効率化を図り、
増産に対応

第1工場

第3工場
第1期工事

第1工場と第3工場 第1期工事、第2期工事エリア

2013年11月現在

(面積)	第1工場	土地	43,000㎡	建屋	26,300㎡
	第2工場	土地	17,700㎡	建屋	10,400㎡
	第3工場	土地	21,100㎡	建屋	16,000㎡(第1期) 建屋 8,700㎡(第2期)
(ダイカストマシン)	31台	(鋳造能力)	月産2600t		



本社移転 & 東証市場1部銘柄指定

13年10月1日付で 本社を愛知県豊橋市に移転

主力事業であるダイカスト事業をより効率的に展開、拡大するため2013年10月1日付で、本店の所在地を東京都中野区から、東海工場およびテクニカルセンターが所在する愛知県豊橋市に変更いたしました。

それに伴い、テクニカルセンターを本社・テクニカルセンター、東京都中野区の事業所を東京本社と名称変更しております。



本社・テクニカルセンター外観

14年3月7日付で 東京証券取引所市場第2部から 同市場第1部銘柄に指定

1961年の東証2部上場から53年、2014年3月7日付で1部に指定変更いたしました。

これもひとえに皆様のご支援のお蔭と深く感謝申し上げます。
自信と誇りをもって、
さらにものづくりを究め、成長を進めたいと思っております。



広州アーレスティ フォルクスワーゲングループへの量産納入開始

広州阿雷斯提汽车配件有限公司



製品搭載車両例：AUDI A4L（写真左）、Q5（写真右） ※車両写真は各公式サイトより、了承を得て掲載



■取引先名：

Volkswagen FAW Engine (Dalian) Co., Ltd.
Shanghai Volkswagen Automotive Co., Ltd.

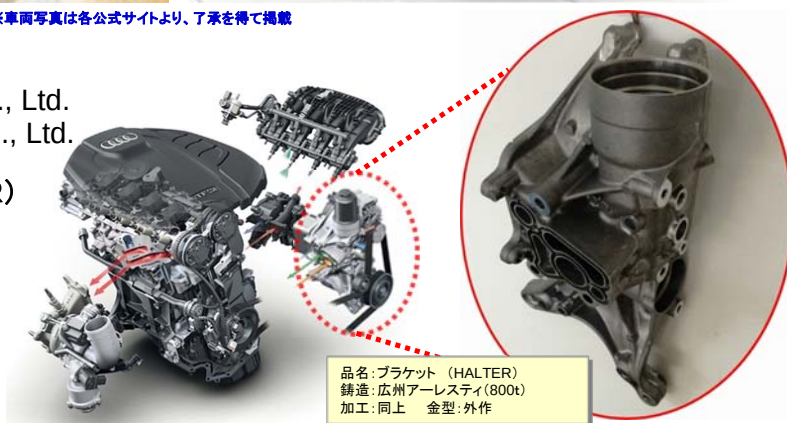
■搭載製品名：ブラケット（HALTER）

■エンジン：1.8L, 2.0L TFSI

■量産工場：広州アーレスティ

■量産開始時期：2014年6月

■搭載車種例：AUDI A4L, Q5



品名：ブラケット（HALTER）
製造：広州アーレスティ(800t)
加工：同上 金型：外作



アーレスティメヒカーナ生産能力増強

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

鑄造工場の増床工事及び、鑄造設備の増設を行い、
15年度までに生産能力を2割程度増強予定。

■鑄造工場増床工事

2014年4月着工
9月竣工予定



2014年4月末現在

(工場面積) 土地 約100,000㎡ 建屋 約32,200㎡

(増床予定面積) 建屋 約920㎡

(ダイカストマシン台数) 22台 ※15年8月にかけて5台増設予定

アーレスティメヒカーナ鑄造工場増床エリアイメージ図



2015年3月期の見通し



2015年3月期業績予想

(単位: 百万円)

	2014年3月期		2015年3月期 計画		増減	
売上高	126,783	100%	135,300	100%	8,517	6.7%
営業利益	4,449	3.5%	4,800	3.5%	351	7.9%
経常利益	4,012	3.2%	4,000	3.0%	△12	△0.3%
当期純利益	6,272	4.9%	2,500	1.8%	△3,772	△60.1%
EPS	287.10		96.81		△190.29	

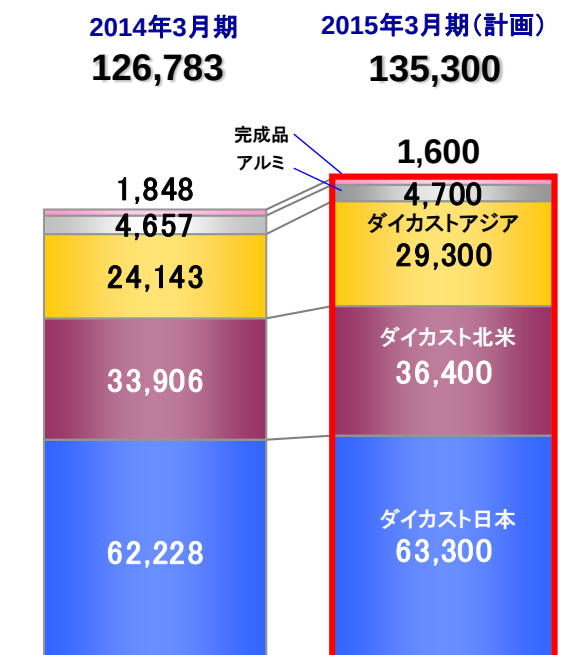
- ◆ 売上高: 国内は前期の消費増税前の駆け込み需要増の反動減が懸念されるものの通期では増加すると見込まれ、海外はアジア・北米ともに増加の見込みであることから、連結売上高は前期比85億円の増加を予想。
- ◆ 営業利益: 国内は増収による効果が期待できるものの減価償却費の増加等の影響により減益を予想するも、アジア・北米での収益改善により、連結では前期比3.5億円増を予想。
- ◆ 経常利益: 為替差益(前期は4.7億円)を見込んでいないことから前期並みを予想。
- ◆ 当期純利益: 特別損益は見込まず、税前利益に実効税率を加味して予想。
前提為替レート(通期平均): 100円/米ドル、16.5円/人民元、1.65円/インドルピー



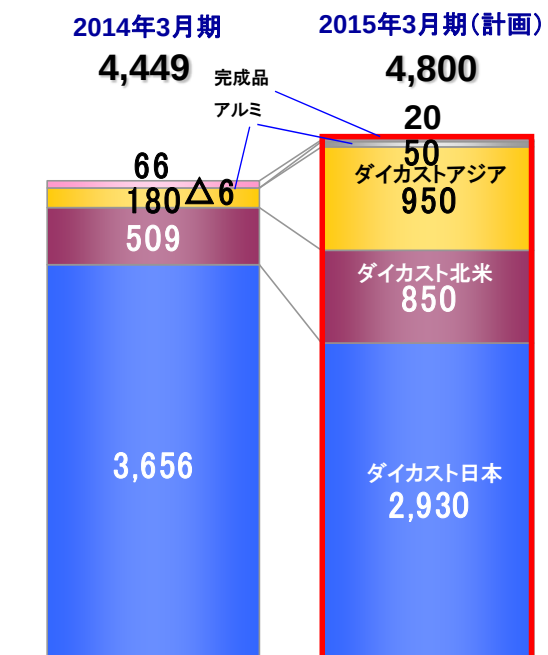
2015年3月期業績予想(セグメント)

(単位: 百万円)

売上高

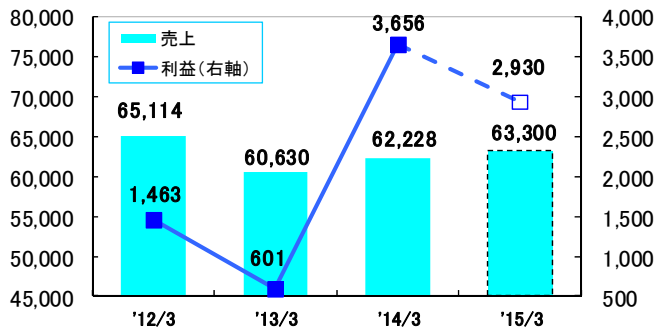


営業利益



ダイカスト日本

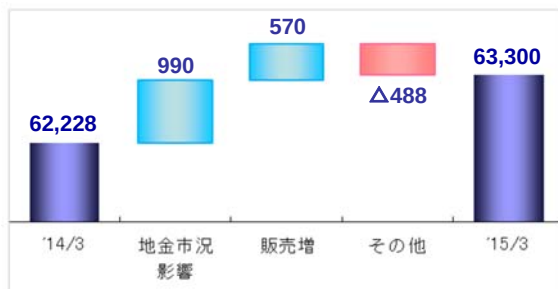
ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移 (百万円)



売上高: 前期の消費増税前の駆け込み需要増の反動減が懸念されるものの2Q以降回復し、地金市況の影響もあり通期では増加が見込まれる。

利益: 増収が見込まれるものの、減価償却費の増加、労務費の増加、分割回収金型の利益減少が見込まれることから減益を予想。

売上高増減予測 (百万円)

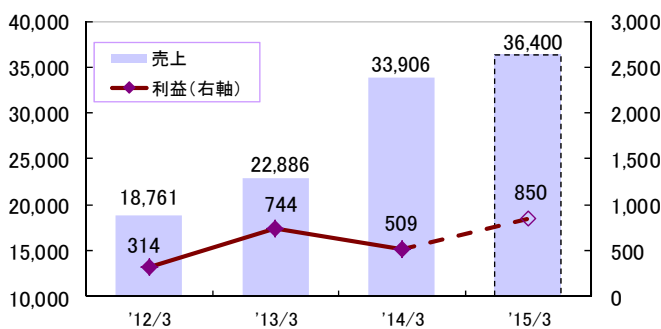


セグメント損益増減予測 (百万円)



ダイカスト北米

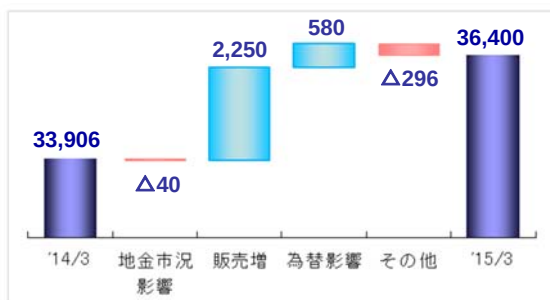
ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (百万円)



売上高: 前期の伸びよりも小さいものの売上高は増加する見込み。

利益: 減価償却費の増加があるものの増収効果、製造コスト改善により増益を見込む。

売上高増減予測 (百万円)

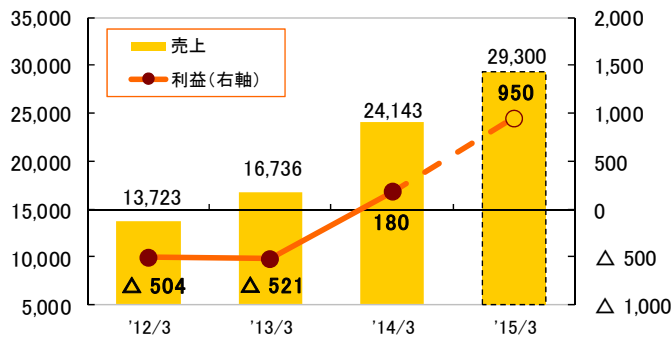


セグメント損益増減予測 (百万円)



ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移 (百万円)



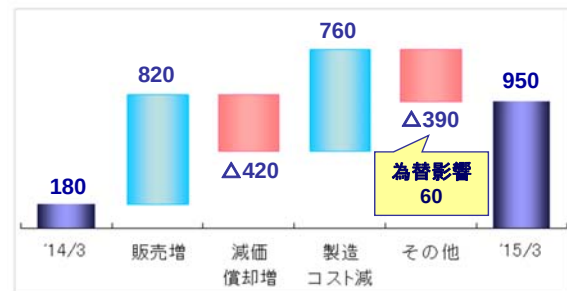
売上高:新規品の立ち上げ、増産等により、中国、インド共に売上高は順調に増加。

利益:増収効果及び製造コストの削減により、中国広州の利益の増加、中国合肥も順調に売上が増加し黒字化を見込む。インドも増収効果等により改善し損失が縮小する見込み。アジアの収益性は大幅に改善する見込み。

売上高増減予測 (百万円)



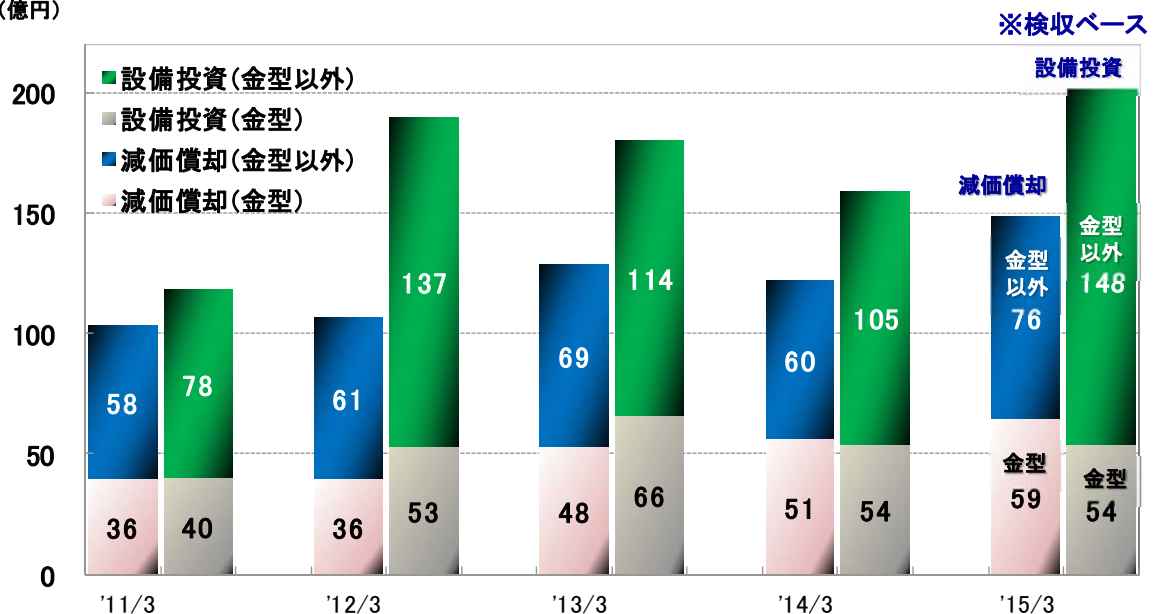
セグメント損益増減予測 (百万円)



設備投資・減価償却の動向

◆海外ダイカスト事業の能力拡充の設備投資を計画

(億円)

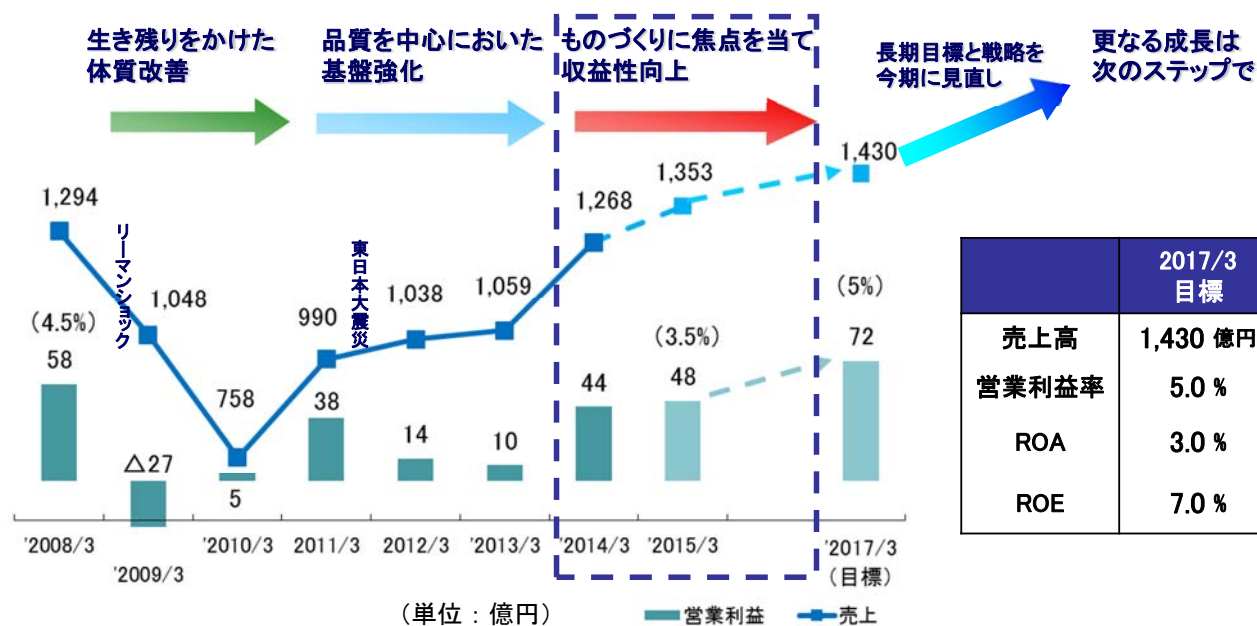


※海外ダイカスト拠点の能力拡充を中心に前期比40%増の設備投資を計画(金型以外)。金型投資は前期並み。

中期目標（2017年3月期）



2017年3月期 目標数値



- ✓ グローバル需要拡大に対応し、中国・北米を中心とした海外ダイカスト事業を拡大
- ✓ ものづくりに焦点を当てた1315中期計画の推進

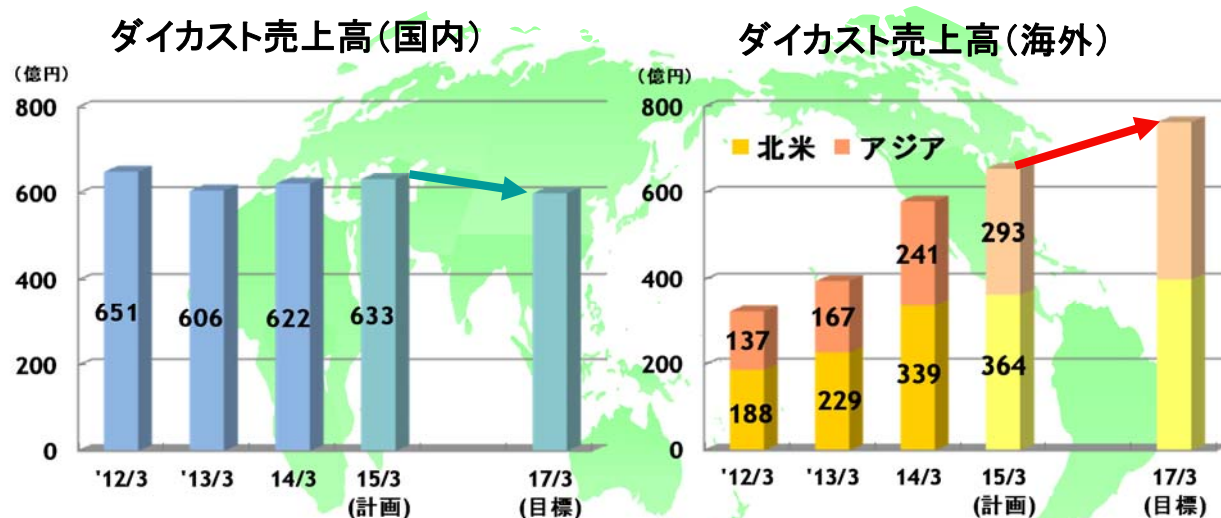
2017年3月期 目標数値

	従来目標 (2016/3期)	2014/3期 実績	評価	新たな目標 (2017/3期)
売上高	1,250 億円	1,267億円	○	1,430 億円
営業利益率	4.0 %	3.5%	△	5.0 %
ROA (総資産純利益率)	3.0 %	5.1% (2.5%)	△	3.0 %
ROE (株主資本当期純利益率)	8.0 %	13.4% (6.7%)	△	7.0 %

注: ()内は旧浜松工場跡地の売却益及び投資有価証券の売却益の影響を除いた場合の値



ダイカスト事業売上高動向



- 日 本: 中期的には国内需要は縮小の方向であるが、積極的な営業活動により一定の売上高と収益を確保。
- 北 米: 需要拡大に対応した能力拡充投資を行いつつ、収益性を向上させていく。
- アジア: 生産性改善等によりインドの黒字化を図り、中国の需要拡大に対応しつつ収益性を向上させていく。



株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.co.jp

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。